

モニター様 No. 6

・デザイン

アルミのハウジングを採用しており質感が高いです。また見た目以上に重量があり、高級感があります。サイズはコンパクトなので女性の方でも普通に使用できるのではないかと思います。

・ケーブル

ケーブルは固めでタッチノイズが大きく、絡まりやすい印象です。個人的にケーブルにセレーション加工が施されていれば尚よかったと思いました。耐久性に関しては、屋外で1日3時間の使用を1ヶ月ほど続けましたが特に問題はありませんでした。

・解像度

解像度は1万円を切るダイナミック型のイヤホンとは思えないほど高いです。特にドラムのシンバルの余韻が美しく表現できるイヤホンではないかと思います。1万円以下の価格帯のイヤホンとしてJVCのHA-FXT90という9千円台イヤホンと比較してみましたが、2千円のマージンがあるにもかかわらず878の方が格段に高解像度でした。

・高音

HDSS採用のイヤホンということで耳に刺さらないやわらかい高音ですが、良くも悪くも伸びがない印象です。特に女性ボーカルに伸びがなく、高い音では頭打ちしてしまうような印象です。ただしHDSSというのはそういったものと割り切って聴けば特に気になることはありません。

・中音

中音はボーカルがしっかりと中央に定位している印象です。上記した通り女性ボーカルは苦手としていますが、男性ボーカルは生々しく目の前に定位するような印象です。また、高音が開放的に左右に広がっていくのに対し、中音はドシッと構えたような鳴り方です。

・低音

低音に関しては本当に驚きました。878はリラックスサウンドを謳っているイヤホンであり、また見た目が小ぶりなので、正直聴いてみるまでは低音の量感や深度には期待していませんでした。しかし実際に聴いてみるとかなりの量感があり、また低音に特化したイヤホンではないにもかかわらず深度がありリッチな鳴りでした。私は現在ゼンハイザーのIE80をメインで使用していますが、確かに質や深度では敵わないもののIE80に似た感触で豊かでたっぷり鳴る低音です。

・バランス

バランスは完全なピラミッド型です。ベースが全体を包み込むように鳴り、そこに中音、高音と乗っかっていくようなバランスです。フラットとはかけ離れたバランスです。

・ステレオ感

ステレオ感はかなりあります。また音の分離が良く、それぞれの楽器が他に干渉することなく独立して鳴ります。

・音場

音場はとにかく広く、余韻が左右に広がる感じが心地いいです。また音全体には元気があり豊かなのですが、HDSS 特有のものなのか、それが耳から一歩引いたところで止まるような鳴り方です。言い方を変えれば、高音は耳に刺さらず、また低音も鼓膜にトントン当たるようなことのない消極的な鳴り方です。これは今まで経験したことないようなサウンドで一瞬戸惑いましたが、すぐに慣れ、その良さが分かりました。

・エージング

この製品を送って頂いた際に50時間程度のエージングが必要だと言われていましたが、私自身もともとエージングによる効果については否定的な方で、どちらかといえばエージングによる音質の変化のほとんどは、よく言われる耳エージング（そのイヤホンの音質に対する慣れ）のせいだと思ってきました。そのため耳エージングによる錯覚を避けるため、定期的に違うイヤホンを使用し878に慣れすぎないようにして使用していました。ところが、使用時間が30時間を越えたところでしょうか。音質がはっきりと変わってきました。具体的には低音の量感がひとまわり増し、より主張の大きい鳴り方になりました。また分離がよくなり、中高音に透明感が出ました。

・フィット感

ハウジングが重たいのにもかかわらず、歩きながらの使用でも落ちてくることは全くなくフィット感は非常に良好でした。イヤピースも純正で7種類のイヤピースが付属してくるので、ほとんどの方が自分にあったフィット感のものを選べると思います。

・遮音性、音漏れ

私は、騒音の遮断目的としてもそうですが、特に音質を評価するにあたって完璧に密閉できるイヤピースが必要だと考えています。私は純正のイヤピースでは十分な遮音性が得られなかったため、主にSONY製「ハイブリッドイヤピース」のMサイズを使用していました。それを踏まえた上での遮音性についての評価ですが、かなり良いと思います。アルミのハウジングで完全に密閉されているせいかこの点では全く不満はないです。おそらく下手なノイズキャンセリング機構を持ったイヤホンよりも良いと思います。また音漏れに関しても、常識的な音量で聴けば電車内等の使用でも全く問題はないと思います。

しかし878は音量を大きめで聴いても耳が疲れにくいいため、それに惑わされて大音量で聴いてしまうと隣の人を不快にさせてしまう可能性があるため注意が必要です。

・合うジャンル

これは非常に難しいところです。あえていうならアコースティックやボサノバなどのジャンルでしょうか。ロックやハウスミュージックなどでは、せっかくの刺激がHDSSによってフィル

タリングされ一歩引いた消極的な音になってしまいます。ですが新しい音楽の楽しみ方として、ロックなどを楽に聴くというのも面白いのではないのかと思います。

また個人的にマッチングすると思った使い方は映画鑑賞です。低音は深くからたっぷりと鳴り、セリフにあたる中音域は近くで定位し、高音は広がるように鳴るのでまさに映画鑑賞向きといった鳴り方です。実際に映画を1本鑑賞してみたところ、まさにベストマッチでした。さらに上下空間の広がりも感じられ、特にヘリコプターの音が上から聴こえた時は、サラウンドヘッドホンを使用しているのかと錯覚してしまうほど立体的に聴こえました。また、大きめの音量で鑑賞していたのにも関わらず、映画を見終わってからイヤホンを外しても全く聴き疲れしていなかったため、この点はさすがだなと実感しました。

・付属品

付属品は大きさの異なるイヤピースが6種類、二段フランジが1種類、そして日本国内版にはコンプライのイヤピースが1種類付属しています。この価格帯でコンプライが付属してくるイヤホンはなかなかないと思います。また、皮製のソフトケースが付属していますが質感が高く、また簡単に開閉できるので使い勝手がかなり良いです。これらの付属品は価格を考えれば十分すぎる内容だと思います。

総評

HDSSは究極のリラックスサウンドをもたらすと謳っていますが、まさにその通りで、高解像度で量感のあるサウンドでありながら、高音が刺さったり低音が鼓膜に当たるような感覚はなく、長時間使用しても耳が疲れることはありません。そういったHDSSの特性を理解できれば大変良い製品だと思いますし、聴き疲れしないサウンドのイヤホンを求めている方にはこの上ない製品だと思います。

そういった意味で、今後HDSSについてより多くの人に知ってもらい、イヤホンのジャンルとして確立できればもっと注目される製品だと思います。それだけ私もHDSSの良さや878のコストパフォーマンスの高さを実感し、それをもっと多くの人に体感してもらいたいと、この機会を通して思いました。

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社のBlue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープログラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい (info@hakojiro.com)。